

# だいすきなおかあさん

鈴木 張音<sup>すずき ちやうおん</sup>

「こらー。」  
「いっかいのへやから、おかあさんのおおきなこえがきえてくる。」

「すずきけのいちにちは、おかあさんのとなりごえではじまるのだ。」

「さわがしいわたしのいえは、おとうさんとおかあさん、そして3さいのいもうとと、1さいのおとうとの5にんかぞくだ。」

「はあー。またいもうとたちが、いたずらをしたんだな。」

「わたしがためいきをつきながら、いっかいにおりていくと、やっばりだ。」

「いそがしそくに、あさごほんのよいいをするおかあさんのそばで、ふたりがおもちゃのとりあいをしている。」

「わたしは、いそいでふたりにかけよう。」

「いいかげんにしなさいー!」

「と、ふたりをおこると、ささつと、おとうとをだっこして、てーぶるのあかちゃんよりのいすにすわらせると、なみだでぐちゃぐちゃのいもうとのかおをふいてあげた。」

「はーちゃん、ありがとね。さすが、ちいさなままだね。」

「そうおかあさんにいわれて、わたしはにっこり。」

「わたしのおかあさんは、まいあさいちばんはやくにおきて、あさはやくしごとへでかけるおとうさんの、おべんと

うをつくり、わたしたちのあさごほんのじゅんびも、ぜんぶひとりですべてやってくれている。」

「わたしを、しょうがっこうにおくりだしてから、こんどは、いもうとをようちえんへ。」

「わたしたちがっこうや、ようちえんにいっているあいだも、おかあさんは、まだちいさなおとうとのせわをしながら、せんたくや、おふるそうじなど、やることがいっぱいだ。」

「まいにちまいにち、いそがしくうごきまわっているおかあさん。ほんとうにありがとう。」

「くもんの1000まいちやれんじも、おかあさんが、いつもそばでおうえんしてくれたから、つらかったけど、さいごまでがんばれたよ。」

「だいすきなおかあさん。でもさいきんは、ちいさいいもうとたちにとられて、なかなかあまえられないのが、ちよつびりさみしい。でも、ふたりがねむったあと、こっそりいってくれる。」

「はーちゃんは、おりこうさんだね。だいすきだよ。」この、まほうのこぼをきくと、わたしはとつてもげんきになる。」

「おかあさん、いつもほんとうにありがとう。またあしたから、わたしはおかあさんをたすけるために、ちいさなままだ、がんばるよ。」